

希望の登校・潤いの活動・満足の下校

さいたま市立岸中学校
校長 星野 貞邦

桜の花も満開となり、さわやかな春の日差しが眩しい季節となりました。保護者の皆様方、お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。この度、さいたま市教育委員から岸中学校第24代校長として着任いたしました星野貞邦でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度、186名の新入生を迎え、生徒数626名(昨年度比72減)、通常学級17クラス、特別支援学級3クラスの計20学級、そして51名の教職員で平成29年度の教育活動をスタートいたします。今回の人事異動では22名の教職員が転出又は退職され、新たに19名が着任されました。多くの入れ替わりになりましたが、伝統ある岸中学校の良さを受け継ぎ、生徒、保護者、地域の期待に応え、信頼される学校づくりをさらに目指し、教職員一同全力で取り組んで参ります。

さて、年度の初めにあたり、学校経営の基本方針についてお知らせいたします。今年度のスローガンを「希望の登校・潤いの活動・満足の下校」と致しました。

「希望の登校」とは、生徒一人ひとりが、朝登校する時、今日は勉強や部活動でこんなことができるようになりたい、友だちとはこんな話をしようなど、明るく元気に希望をもって登校し、「潤いの活動」とは、潤いという言葉には、情味という意味が含まれています。情味とは、あじわい、趣という意味とともに、人間らしい思いやりや温かみ、心の在り方を表します。人間らしい思いやりや温かみをもって、授業や行事、部活動など積極的に活動し、下校する時、今日は授業でこんなことが分かった、部活動でこんなことができるようになった、友人との活動の中で、この人の持っている素晴らしさに触れることができたなど、その日の学校生活の中で成就感や充実感を持って、「満足の下校」できる、そんな学校を目指したいと思います。

全生徒にとって、学校(教室)が心地よい居場所であり、「希望の登校・潤いの活動・満足の下校」となるような学校づくりこそが、本校の教訓である「気品の岸 美の学園」につながると考えます。

保護者、地域の皆様方には、様々な機会に学校に足を運んでいただき、教育活動や生徒の学ぶ姿、成長の様子など見ていただき、忌憚のないご意見を賜りますとともに、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、今年度の学校教育目標及び学校経営方針を、以下のように決定いたしました。

<校訓> 気品の岸 美の学園 <学校教育目標> 真理・感性・実践

学校経営の基本方針 「日本一の中学校(夢をもち、未来を切り拓く力を育む学校)
をめざす」

学校経営スローガン 希望の登校・潤いの活動・満足の下校

伝統を引き継ぎ、誇れる岸の創造 「生徒・保護者・教師にとって誇れる学校」

*下線部が加筆、変更点になります。